



# スポーツバイクニュース

対象：中級レベルのメカニック

平成28(2016)年5月30日 Vol. 10

隔月発行

## 今泉紀夫のMTB診断術—油圧式ディスクブレーキ ～異音に耳を傾けよう～

東京都のJR山手線高田馬場駅の近くにある自転車販売店、ワークショップモンキーの今泉紀夫さんが自身の経験に基づいたMTB診断術をご紹介します。今回は1回目です。これからご紹介する内容は実際の事例を基にしたモデルケースです。実際の店舗では様々な要因が複雑にからみあった、不具合箇所が潜んでいる調子の悪くなったMTBが持ち込まれます。このニュースは中級レベルのメカニックを対象に作成しているため、基本的な名称、説明等は省略していますが、ぜひ、日々の作業の参考としてください。

### 不具合の状況

お客様が「MTBのブレーキが変なのです。」と来店してきました。  
MTBは油圧式(ハイドロリック)ディスクブレーキです。

### <お客様への確認>

不具合箇所がブレーキなので、真っ先に、お客様に「ブレーキが効くのか否か」を尋ねます。そして、「ブレーキは余り効きません」との返事を受け、「前、後ブレーキどちらなのか」、「異音はするのかどうか」を確認します。

お客様が「後ブレーキから異音が出ます」と回答があったら、次に異音の内容をお聞きしますが、ここでは、さらに原因を絞り込むための質問をします。例えば、「ずっと音がする」、「一定の間隔で異音が出たり、しなかったりする」、「振動のような異音が出る」などの返答を導いていきます。

お客様から「一定の間隔で音がしたり、しなかったりします」といった情報を得ると、さらに原因を絞り込むために「MTBの後輪が回っている時に異音が出るのか」といった質問をして、状態を明らかにしていきます。

ここまでのMTBの不具合の内容をまとめます。

- ブレーキは余り効きません。
- 後ブレーキから異音が出ます。
- 一定の間隔で異音が出たり、しなかったりします。
- 後輪が回っている時に異音が出ます。

### <車体のチェック>

この段階までくると、原因についておおよその目星はついてきますが、不具合箇所が重要な制動装置であるブレーキだけに、車体のチェックを入念に行い、考えられる原因を消していきます。メンテナンススタンドに固定するなど、車体を傷つけないように作業の安全性を確保し、実際に後輪を回すなどしてチェックしてください。同時に、自分の耳で異音を確認し、感じとるようにしてください。

ここでの車体の代表的なチェック箇所です。

- 各部の汚れ
- 各部、フレームの変形、破損
- 後輪の固定、位置
- ブレーキレバー、ホース固定、動作
- キャリパーの固定、動作
- ブレーキパッド位置、摩耗
- ディスクローター固定、変形、摩耗

必要に応じて他の箇所もチェックしましょう。



インターナショナルタイプのフレームに、ポストマウントアダプターによって取り付けられたリア用油圧式ディスクブレーキ

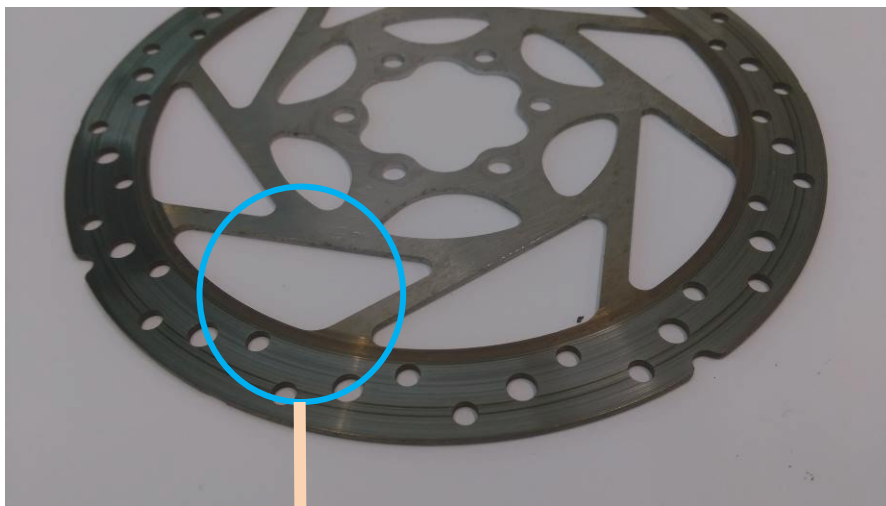
### <よくある不具合の原因、対応方法>

よくある原因は「ディスクローターの摩耗、変形」です。MTBの使用を重ねると、ディスクローターがディスクパッドとの摩擦により摩耗し薄くなってきます。厚さがメーカー指定値を下回っていたら、ディスクローターを交換します。ディスクローターは偏摩耗の状態であることも珍しくありません。

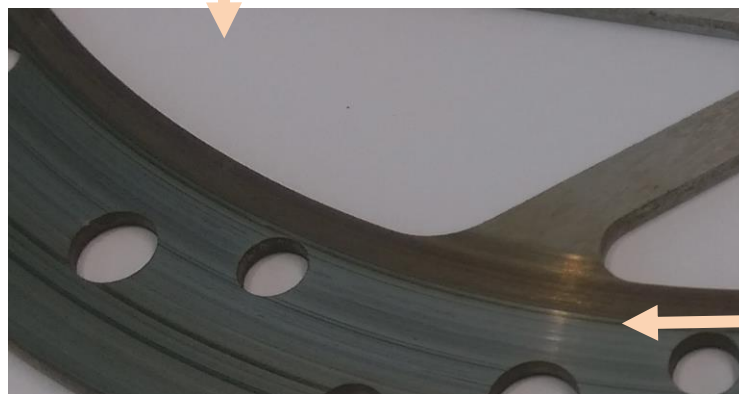
### <ポイント>

今回のポイントは異音に耳を傾け感じとる、ということです。後輪を回した時に、シャ、シャ、シャといった一定の間隔で発生する異音を聞き感じとった時点で、作業の流れが頭に浮かぶようになれば、しめたものです。

異音を聞き感じとることは、「正確で速い作業」につながる近道です。



偏摩耗したディスクローター



偏摩耗で段差が  
できている部分

偏摩耗したディスクローターの一部拡大



#### <監修>

ワークショップモンキー 今泉紀夫(いまいずみ のりお)

URL: <http://www.monkey-magic.com/> 住所: 東京都豊島区高田 3-13-6-102

MTBメンテナンス解説書の監修を手掛け、知識と技能は国内トップクラスにある。

オリジナルフレームの開発でも有名。SBM(スポーツバイクメカニック)認定講師

<発行> 一般財団法人自転車産業振興協会 〒141-0021 東京都品川区上大崎 3-3-1 自転車総合ビル 4階

電話: 03-6409-6922 FAX: 03-6409-6868

<http://www.jpior.jp>